

有害プランクトン情報 (平成30年度 - No. 3)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 6月 第1回 内湾 (8地点) 6/6 内房 (6地点) 6/5
6月 第2回 内湾 (8地点) 6/21 内房 (7地点) 6/19
- 貝類漁場内 九十九里 6/4 千葉北部 6/6, 13, 18, 25 木更津北部 6/4, 10, 18, 25
木更津南部 6/4, 7, 12, 18, 25 富津 6/4, 11, 18, 25

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上、酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属プランクトンは 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属プランクトンは 1000 細胞/mL, カレニア属プランクトンは 100 細胞/mL の密度を超えた場合に注意報を発行します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最大密度はディノフィシス アキュミナータが 6/6 に盤洲北で 3.35 細胞/mL でした。なお同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス ロツンダータが 6/19, 21 に富津南・盤洲南で 0.30 細胞/mL、ディノフィシス カウダータが 6/19 に浦賀水道で 0.05 細胞/mL (検出限界程度) でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 6/6 内湾 渦鞭毛藻 ジヤイロディニウム属 (図1)、プロロセントラム属、プロトペリディニウム属
珪藻 キートセロス属、レプトキリンドルス属
- 6/5 内房 珪藻 キートセロス属、ダクチリオソレン属
- 6/21 内湾 珪藻 シュードニッチア属 (図2)
スケレトネマ属
- 6/19 内房 珪藻 スケレトネマ属

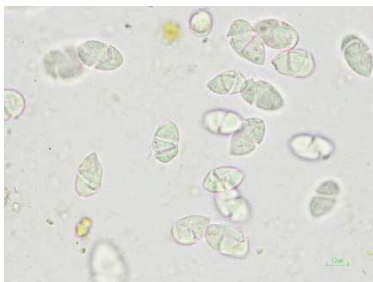


図1 ジヤイロディニウム属 (6/6 千葉灯標)

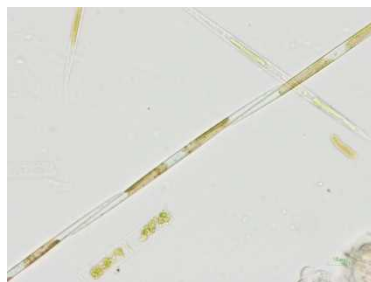


図2 シュードニッチア属 (6/21 船橋)

